

2026年4月17日  
三菱電線工業株式会社  
取締役社長 増田 昭裕

三菱電線、シール事業の成長を支えるスマートファクトリー  
「熊谷第二工場」が竣工

三菱電線工業株式会社（以下、当社）は、高付加価値シール製品分野における生産体制の高度化と事業成長を見据え、熊谷事業所に「熊谷第二工場」を新設し、2026年3月31日に竣工式を執り行いました。本工場は、自動化とDXを活用したスマートファクトリーとして、品質・生産性の向上と安定供給体制の強化を図る、次世代のシール事業を支える生産拠点となります。

■熊谷第二工場 建設の背景と目的

当社は、半導体製造装置や空気圧機器向けを中心に、付加価値の高いシール製品を提供することで、事業の成長と競争力の強化を進めてきました。

熊谷第二工場は、こうした取り組みをさらに加速させるために整備した生産拠点です。

2023年4月に竣工した熊谷第一工場に続く拠点として、生産能力の拡充と生産体制の高度化を図り、将来にわたるシール事業の持続的な成長を支えます。

■熊谷第二工場の特長

本工場では、合理的で自動化された生産を通じて、モノづくりの進化を目指しています。

生産・品質・設備稼働に関するデータをネットワークで統合し、DXを活用することで、工場全体の状況をリアルタイムに可視化。生産の高度化と効率化を進めています。

また、自動化の推進や工程の合理化により、リードタイムの短縮と品質・コスト競争力の向上に取り組み、世界トップレベルのモノづくりを支える生産体制の構築を図っています。

■生産拠点としての位置づけと稼働計画

熊谷第二工場は、次世代のシール事業を支える中核的な生産拠点として位置づけています。

現在、工場建屋は完成しており、生産設備の搬入・据付を順次進めています。2026年7月の量産開始に向け、生産体制の構築が着実に進んでいます。

■今後の展望

熊谷第二工場は、熊谷第一工場に続き、当社シール事業のさらなる成長を支える拠点として、段階的に稼働を拡大していく予定です。

本工場の稼働を通じて、事業競争力の強化を図るとともに、地域雇用の創出や産業の活性化

を通じて、地域社会への貢献にも取り組んでいきます。

また、当社は三菱マテリアルグループの一員として、「人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する」というグループが掲げる「私たちの目指す姿」の実現に向け、環境配慮や資源効率の高いモノづくりを推進し、企業価値の向上につなげていきます。

#### ■熊谷第二工場の概要

項目	内容
所在地	埼玉県熊谷市
建築面積	2,700 m <sup>2</sup> (60m×45m)
延床面積	5,400 m <sup>2</sup>
製造品種	半導体製造装置・空気圧機器に使用されるシール製品
投資額	4,350 百万円
竣工	2026 年 3 月 31 日
量産開始	2026 年 7 月 (予定)

#### ■竣工式について

2026 年 3 月 31 日の竣工式には、当社経営幹部および関係者が出席し、熊谷第二工場の完成を祝うとともに、今後の安全操業と事業のさらなる発展を祈念しました。



以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

三菱電線工業株式会社 管理部 総務・人事室 総務グループ

TEL : 03-3216-1551